AXIS C1111-E Network Cabinet Speaker

優れたサウンドを実現するフレキシブルスピーカー

パフォーマンスとデザインを兼ね備えたこのスタイリッシュなネットワークキャビネットスピーカーは、デジタル信号処理によりクリアな音声メッセージとバックグラウンドミュージックを提供します。オープンプラットフォーム上に構築されており、VMS、VoIPテレフォニー、分析機能などとの統合をサポートしています。内蔵マイクロフォンにより、リモートヘルステストとエコーキャンセリングによる双方向通信が可能になります。AXIS Audio Manager Edgeソフトウェアがプリインストールされており、ユーザー、コンテンツ、ゾーン、スケジュールを簡単に管理できます。このオールインワンスピーカーシステムは、出力（PoE）と接続に1本のケーブルを使用して標準ネットワークに接続可能で、簡単なクリック取り付けの取り付けブラケットは、壁、天井、ポールへの取り付けに対応します。

- 健全性のリモートチェック
- スタイリッシュで柔軟性の高いオールインワン型スピーカー
- 標準ネットワークへの接続
- PoEによる簡単インストール
- エコーキャンセラー付き双方向音声

JAPAN CYBERSECURITY LABEL
ジャパン・サイバーセキュリティ・ラベル
JC-STAR
Registered ID: 2025050200000244
Information-technology Promotion Agency, Japan (IPA)

AXIS C1111-E Network Cabinet Speaker

音声ハードウェア

エンクロージャー
2.5インチのブロードバンドダイナミックコーンスピーカーを備えたシールドエンクロージャ

最大音圧レベル
93 dB

周波数応答
120 Hz～20 kHz

指向特性
スピーカーの水平指向角度120°
スピーカーの垂直指向角度130°

入出力
内蔵マイクロフォン (無効設定可)
外部マイクロフォン、ライン入力

内蔵マイクロフォンの仕様
50 Hz～12 kHz

アンプの説明
内蔵型7 WクラスDアンプ

デジタル信号処理
内蔵および事前設定済み

音声管理

AXIS Audio Manager Edge
内蔵機能:
- 最大200台のスピーカーを20のゾーンに分割できるゾーン管理。
- 音楽およびライブ/事前録音されたアナウンスのコンテンツ管理。
- コンテンツをいつ、どこで再生するかを決定するスケジューリング。
- 緊急メッセージがスケジュールに割り込むようにするコンテンツの優先順位付け。
- システムエラーのリモート検知のための健全性監視。
- どの機能にどのユーザーがアクセスできるかを制御するユーザー管理。
詳細については、*axis.com/products/axis-audio-manager-edge/support*のデータシートを参照してください

AXIS Audio Manager Pro
より大規模で高度なシステム向け。別売。仕様については、別紙のデータシートを参照してください。
仕様については、*axis.com/products/axis-audio-manager-pro/support*のデータシートを参照してください

AXIS Audio Manager Center
AXIS Audio Manager Centerは、マルチサイトシステムのリモートアクセスと管理のためのクラウドサービスです。
仕様については、*axis.com/products/axis-audio-manager-center/support*のデータシートを参照してください

音声ソフトウェア

ストリーミング
オプションの全二重エコーキャンセル備えた単方向/双方向。モノラル.

エンコーディング
AAC LC 8/16/32/48 kHz、G.711 PCM 8 kHz、G.726 ADPCM 8 kHz、Axis μ-law 16 kHz、WAV,
MP3 (64 kbps～320 kbps、モノラル/ステレオ)
固定/可変ビットレート.
サンプリングレート8 kHz～48 kHz.
Opus 8/16/48 kHz

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース
VAPIX®など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI、ワンクリッククラウド接続、AXIS Camera Application Platform (ACAP).

ビデオ管理ソフトウェア
AXIS Camera Station Edge、AXIS Camera Station Pro、および*axis.com/vms*で入手可能なAxisパートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。

大量通知
Singlewire InformaCast®、Intrado Revolution、Lynx、Alertus

統合通信
検証済みの互換性:
SIPクライアント:2N、Yealink、Cisco、Linphone、Grandstream
PBX/SIPサーバー: Cisco Call Manager、Cisco BroadWorks、Avaya、Asterix、Grandstream
クラウドサービスプロバイダー: Webex、Zoom

SIP
サポート対象SIP機能: セカンダリSIPサーバー、IPv6、SRTP、SIPS、SIP TLS、DTMF (RFC2976およびRFC2833)、NAT (ICE、STUN、TURN)
RFC 3261:INVITE、CANCEL、BYE、REGISTER、OPTIONS、INFO
DTMF (RFC 4733/RFC 2833)

イベント条件
音声:音声クリップ再生、スピーカーテスト結果
呼び出し:状態、状態変化
装置ステータス:IPアドレスのブロック、IPアドレスの削除、ライブストリーム有効、ネットワーク接続断絶、新規IPアドレス、リングパワー過電流保護、システムの準備完了
デジタル音声入力ステータス
エッジストレージ:録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検知
I/O:デジタル入力がアクティブ、手動トリガー、仮想入力がアクティブ
MQTT:ステートレス
スケジュール、繰り返し:スケジュール

イベントアクション
音声:自動スピーカーテストの実行
音声クリップ:再生、ルールのアクティブ中の再生、再生の停止
I/O:I/Oを一度切り替え、ルールがアクティブな間はI/Oを切り替え
LED:ステータスLEDが点滅、ルールが有効な間にステータスLEDが点滅
ライトとサイレン:ライトプロファイルの実行、ルールが有効な間にライトプロファイルを実行、アクティビティの停止
MQTT:MQTT公開メッセージの送信
通知:HTTP、HTTPS、TCP、電子メール
録画:音声を記録、ルールがアクティブな間は音声を記録
セキュリティ:設定の消去
SNMPトラップ:メッセージの送信、ルールがアクティブである間はメッセージを送信

設置支援機能内蔵
テストトーンの検証と識別

機能モニタリング
オートスピーカーテスト (内蔵マイクロフォンでの試験)

分析機能

アプリケーション
含まれるもの
AXIS Audio Analytics
サポート
AXIS Camera Application Platformに対応し、サードパーティ製アプリケーションをインストール可能 (*axis.com/acap*を参照)

AXIS Audio Analytics
機能: 適応音声検知、音声分類
音声クラス: 咳発作、ガラスの割れる音、人の存在、悲鳴、怒鳴り声、会話
イベントメタデータ： 音声検知、分類

認証

EMC
CISPR 24、CISPR 35、CISPR 32 Class A、EN 55024、EN 55035、EN 55032 Class A、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2、EN 61000-6-3、EN 61000-6-4
オーストラリア/ニュージーランド:
RCM AS/NZS CISPR 32 Class A
カナダ : ICES-3(B)/NMB-3(B)
日本: VCCI Class A
韓国: KS C 9835、KS C 9832 Class A
米国 : FCC Part 15 Subpart B Class A

安全性
CAN/CSA C22.2 No. 62368-1、CAN/CSA-C22.2 No. 60950-22、IEC/EN/UL 62368-1、IEC/EN/UL 60950-22、KC-Mark

---

環境
IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、IEC/EN 60529 IP55

サイバーセキュリティ
ETSI EN 303 645、BSI IT Security Label、FIPS-140

ネットワーク

ネットワークプロトコル
IPv4/v6[1]、HTTP、HTTPS[2]、SSL/TLS[2]、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、Bonjour、UPnP™、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS、DynDNS、NTP、PTP、RTSP、RTP、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCP、ARP、SOCKS、SSH、NTCIP、SIP

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ
ソフトウェア: 署名付きOS、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749クライアントクレデンシャルフロー/OpenID認定コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、Axis Cryptographic Module (FIPS 140-2 level 1)、AES-XTS-Plain64 256bit SDカード暗号化
ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム
セキュアエレメント (CC EAL 6+)、AxisデバイスID、セキュアキーストア、セキュアブート

---

1. *IPv4*のみでの音声同期。
2. この製品には、*OpenSSL Toolkit*で使用するために*OpenSSL Project (openssl.org)* によって開発されたソフトウェアと*Eric Young (eay@cryptsoft.com)* によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

ネットワークセキュリティ
IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)[3]、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS[3]、TLS v1.2/v1.3[3]、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI、ホストベースのファイアウォール

文書化
AXIS OSハードニングガイド
Axis脆弱性管理ポリシー
Axis Security Development Model
AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)
ドキュメントをダウンロードするには、*axis.com/support/cybersecurity/resources*にアクセスしてください。
Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、*axis.com/cybersecurity*にアクセスしてください。

システムオンチップ (SoC)

モデル
NXP i.MX 8M Nano

メモリー
1024 MB RAM、1024 MBフラッシュ

概要

ケーシング
アルミニウムケーシング、IP55保護等級に準拠
色 :白、黒
再塗装の手順については、*axis.com/products/axis-c1111-e/support*にアクセスしてください。
保証への影響については、*axis.com/warranty-implication-when-repainting*にアクセスしてください。

電源
Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3af/802.3at準拠
タイプ1クラス3 （最大12.95 W）

コネクター
RJ45 10BASE-T/100BASE-TX PoE I/O:4ピン2.5 mmターミナルブロック (設定可能な状態監視I/O×2用)

LEDインジケーター
ステータスLED、設定成可能な前面RGB LED

ストレージ
microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応
最大サイズ1 TB
推奨するSDカードについては、*www.axis.com*を参照してください。

信頼性
24時間365日の常時動作向けに設計。

動作温度
-30°C～50°C
湿度 : 10～100% RH (結露可)

保管条件
-40°C～65°C (-40°F～149°F)
湿度: 5～95% RH (結露不可)

寸法
高さ:164 mm
幅:253 mm
長さ：129 mm

重量
2200 g（4.85 lbs）

パッケージ内容
スピーカー、インストールガイド、ターミナルブロックコネクター、コネクターガード、ケーブルガスケット、所有者認証キー

オプションアクセサリー
AXIS C8310 Volume Controller、AXIS Surveillance Cards
その他のアクセサリーについては、*axis.com*を参照

言語
英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証
5年保証、*axis.com/warranty*を参照

製品番号
*axis.com/products/axis-c1111-e#part-numbers*で入手可能

ツール

設計
AXIS Site Designer
*axis.com*で入手可能

設置
AXIS Device Manager、プロダクトセレクター、アクセサリーセレクター
*axis.com*で入手可能

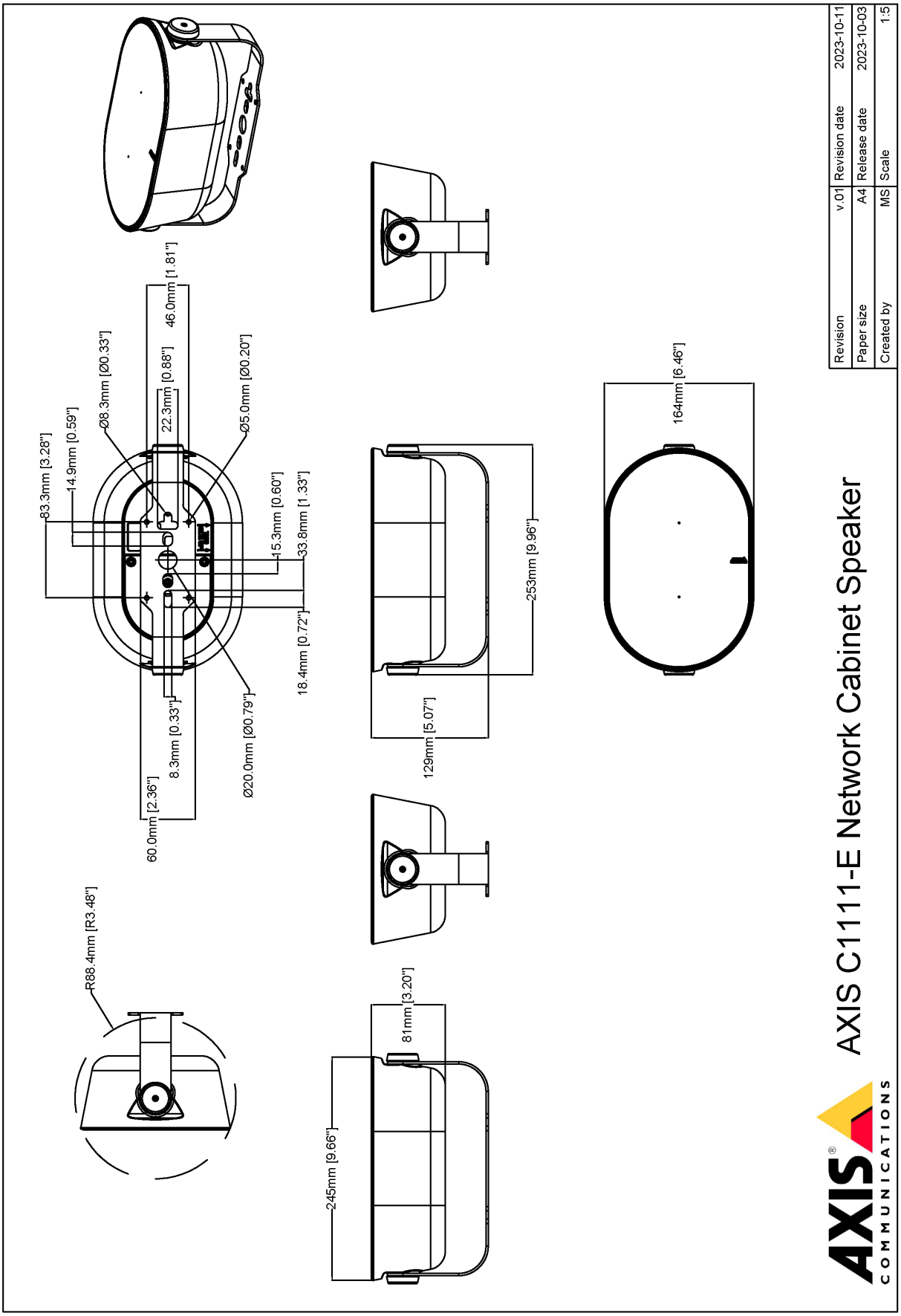
3. この製品には、*OpenSSL Toolkit*で使用するために*OpenSSL Project (openssl.org)* によって開発されたソフトウェアと*Eric Young (eay@cryptsoft.com)* によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

サステナビリティ

物質管理
PVC不使用、BFR/CFR不使用 (JEDEC/ECA標準JS709に準拠)
RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018)に準拠
REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、*echa.europa.eu*を参照

材料
再生可能な炭素系プラスチックの含有率:51% (再生プラスチック:0%、バイオ系:51%、回収炭素系:0%)
OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み
Axisの持続可能性の詳細については、*axis.com/about-axis/sustainability*にアクセスしてください。

環境責任
axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細については*unglobalcompact.org*を参照)



© 2024 – 2026 Axis Communications AB. AXIS COMMUNICATIONS、AXIS、ARTPEC、VAPIXは、スウェーデンおよびその他の国で登録されたAxis ABの登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。記載内容は予告なく変更されることがあります。